平成２９年度 指定管理者モニタリング結果

施　設　名	千歳市体育施設（下記のとおり）
指定管理者	公益財団法人千歳市体育協会
指 定 期 間	平成２９年４月１日から平成３４年３月３１日
評 価 担 当	観光スポーツ部スポーツ振興課

体育施設名称	所在地	面積 ㎡	開設年月	摘　要
千歳市開基記念 総合武道館	千歳市あずさ１丁目３番１号	7,299 (延床)	平成５年６月	
千歳市スポーツセンター	千歳市真町 176 番地の 2	5,992 (延床)	昭和 53 年７月	リニューアル オープン 平成２６年４月
ふれあいセンター（青空公園ゲートボール場を含む）	あずさ１丁目１番 13 号	1,153	平成元年 10 月	室内施設ｹﾞｰﾄﾎﾞｰﾙ２面 ﾃﾆｽｺｰﾄ１面
千歳市民球場	泉沢 868 番地の 22	25,000	昭和 62 年４月	収容人員７千人
青葉球場	真町 2196 番地の１	21,000	昭和 32 年８月	
上長都公園野球場	上長都 1051 番地の 17	7,868	昭和 55 年６月	
若草公園野球場	若草５丁目４番地	21,475	平成４年３月	
青葉少年野球場	真町 176 番地の 3	6,870	平成６年５月	
住吉ソフトボール場	住吉1丁目3番地の1～3、1594 番地	18,000	昭和 52 年 12 月	２面
あずまソフトボール場	青葉２丁目５番地の 23	6,092	平成６年５月	
臨空公園ソフトボール場	泉沢 1007 番地の 52	8,250	平成４年３月	
青葉陸上競技場	真町 176 番地の１	31,889	昭和 29 年６月	日本陸上競技連盟第３種公認取得競技場
青葉公園サッカー場	泉沢 868 番地の 22、26、27	21,000	平成３年６月	
青空公園サッカー場	あずさ１丁目 1096 番地	9,800	昭和 61 年 10 月	
臨空公園サッカー場	泉沢 1007 番地の 112	15,914	平成８年８月	
青葉公園ラグビー場	泉沢 868 番地の 23	15,000	平成元年６月	
青葉公園庭球場	真町 2196 番地の１	5,610 5,933	昭和 35 年５月 昭和 37 年４月	硬式　７面 軟式　５面
すみよし２号公園庭球場	住吉２丁目４番地	1,380	昭和 59 年１月	２面
末広東公園庭球場	末広３丁目 29 番地、302 番地の１	800	昭和 61 年 10 月	１面
しゅくぷ公園庭球場	梅ヶ丘２丁目８番地の１	300	平成２年１月	１面
つばさ公園庭球場	泉沢 1007 番地の 127	2,730	平成５年３月	４面
上長都明星公園庭球場	上長都５番地の２	300	平成６年４月	１面
向陽台公園庭球場	文京３丁目４番地の１	2,730	平成６年４月	４面
青空公園スケート場	あずさ１丁目 1096 番地	22,988	昭和 61 年 12 月	
青葉多目的広場	真町 176 番地の 3	894	平成６年５月	

1　実施事業及び内容等	(1) 開設期間、開館（開場）時間、休館日 ◎下記の※については、自主事業となり、実施状況については③のとおり。 ① 屋内体育施設（武道館、スポーツセンター、ふれあいセンター） ・開 設 期 間：通年 ・開 館 時 間：午前９時から午後９時まで ※午前・午後・夜間の区分を廃止 ・休　館　日：毎週月曜日（祝日と重なるときは翌日） ※休館日を月１回とした。 ・武道館は、毎月２月曜日 ・スポーツセンターは、第４月曜日 ふれあいセンターは、毎月最終月曜日 （休館日が祝日と重なるときは翌日） ：年末年始休館日（12 月 29 日から 1 月 4 日まで） ※武道館、スポーツセンター、ふれあいセンター （12 月 28 日から 1 月 3 日まで） ：整備点検休館日 （毎月最終金曜日、祝日と重なるときは前日） ※月１回の休館日を整備日とした。 ② 屋外体育施設 ・開 設 期 間：夏季種目　4 月中旬から 10 月末まで ※青葉公園庭球場、向陽台公園庭球場、つばさ公園庭球場（11 月 21 日まで） ：冬季種目　12 月下旬から 2 月末まで 青空公園スケート場 （1 月 11 日から 2 月 25 日まで 46 日間） ・開 場 時 間：夏季種目　午前５時から午後６時まで （夜間照明のある青葉公園庭球場、向陽台公園庭球場、つばさ公園庭球場は午後 10 時まで） ※陸上競技場（5 月 15 日から 8 月 15 日の期間を、午後 7 時まで延長） ：冬季種目　午前 10 時から午後８時まで ※青空公園スケート場 （午前 9 時から午後 8 時 30 分まで延長） ・休　館　日：開設期間中は無休とする。 ③事 業 の 実 施 状 況：10 ページから 13 ページの５自主事業の実施状況及び６市民サービスの向上を図るための取組のとおり。 ④利用料金の徴収状況：4 ページの３事業収支(決算状況)のとおり。

2　年間利用者数	(1)施設の年間利用者数

施　設　名	利用者数（人）		
	平成 28 年度	平成 29 年度	増　減
武　　道　　館	132,981	139,748	6,767
スポーツセンター	113,526	119,047	5,521
ふれあいセンター	9,534	10,307	773
屋外体育施設	215,726	218,066	2,340
合　　計	471,767	487,168	15,401

○　指定管理者 1 年目の平成 29 年度利用者数は、前年度と比較して、全体で 15,401 人(3.2%)増加している。主な要因として、屋内体育施設では、午前・午後・夜間の区分の廃止や休館日を毎月 1 回と利用条件が良くなったことや「体育の日」のほか「こどもの日」「成人の日」を記念して、体育施設の無料開放を実施したことがあげられる。

屋外体育施設では、冬期間開設の青空公園スケート場は、昨年度より開設期間が 3 日間長く使用できたことから、利用者数は 511 人の増加、また、その他の屋外体育施設では、輪番制で開催している、全道大会が開催されたことなどが要因で利用者数は増加となった。

3　事業収支（決算状況）	(1)指定管理に係る経費の収支状況

〈収入〉　（単位：円）

施設名		決算額
武道館	指定管理料	58,618,918
	利用料金	11,870,607
	その他の収入	0
スポーツセンター	指定管理料	50,887,410
	利用料金	13,067,838
	その他の収入	0
ふれあいセンター	指定管理料	7,258,031
	利用料金	1,179,015
屋外体育施設	指定管理料	52,272,052
	利用料金	3,406,625
事業活動計		198,560,496
投資活動		0
前年度繰越		2,012,837
合計		200,573,333

〈支出〉　（単位：円）

施設名	決算額
武道館管理費	70,040,825
スポーツセンター管理費	63,341,627
ふれあいセンター管理費	8,359,405
屋外体育施設管理費	44,150,127
管理費	11,904,401
事業活動計	197,796,385
投資活動	558,330
合計	198,354,715
差引額（次年度繰越）	2,218,618

4　管理運営状況	(1) 利用者からの評価 ①指定管理者が実施した利用者アンケート 施設利用者の意見、要望等を把握するため、武道館、スポーツセンター、屋外体育施設で実施した。回収枚数：357 枚 ②市が実施した利用者アンケート １回目　平成 29 年 8 月 7 日から 9 月 8 日 ２回目　平成 30 年 1 月 5 日から 3 月 5 日 (配布枚数：170 枚、回収枚数：106 枚、回収率：62.4%) ③アンケート結果概要 指定管理者　　市 ア　回答者の属性 「男　性」 44.8%　　「男　性」 50.0% 「女　性」 51.0%　　「女　性」 47.2% 「未回答」 4.2%　　「未回答」 2.8% イ 回答者の年齢 「10 代」 67.2%　　「10 代」 51.9% 「20 代」 3.1%　　「20 代」 6.6% 「30 代」 3.9%　　「30 代」 4.7% 「40 代」 7.3%　　「40 代」 6.6% 「50 代」 2.8%　　「50 代」 4.7% 「60 代以上」11.5%　　「60 代以上」23.6% 「未回答」 4.2%　　「未回答」 1.9% ウ 利用状況 「初めて」 1.1%　　「初めて」 9.4% 「週１回以上」48.5%　　「週１回以上」53.8% 「月１回以上」25.2%　　「月１回以上」23.6% 「年１回以上」17.4%　　「年１回以上」 9.4% 「その他」 1.9% 「未回答」 7.8%　　「未回答」 1.9% ○　利用状況については、指定管理者の調査では、「週１回以上」 で 48.5%となり、市の調査では、53.8%となった。「月１回以上」 では、指定管理者で 25.2%、市で 23.6%と定期的な利用者が大半を占めている。 エ 利用時間 「現　状」 67.6%　　「現　状」 62.6% 「開始早」 12.6%　　「開始早」 9.3% 「時間延長」 8.9%　　「終了遅」 15.9%

	「その他」	4.7%
「未回答」 10.9%	「未回答」	7.5%

○　利用時間については、指定管理者の調査では、「現状」で 67.6%、市の調査では 62.6%となった。また、「開始早」「時間延長」については、指定管理者の調査では 21.5%、市の調査では、25.2%となり、武道館並びにスポーツセンターのトレーニング室利用者からの回答が多くあった。

オ 利用料金

「高　い」	15.4%	「高　い」	20.8%
		「やや高い」	17.9%
「適　当」	47.9%	「ふつう」	34.0%
「安　い」	24.7%	「安　い」	10.4%
		「やや安い」	1.9%
「未回答」	12.0%	「未回答」	15.0%

○　利用料金については、指定管理者の調査では、「適当」「安い」で 72.6%、市の調査では、「ふつう」「安い」「やや安い」で 46.3%との回答があった。一方、指定管理者の調査では、「高い」が 15.4%、市の調査では「高い」が 20.8%の結果となった。トレーニング室の利用者から「高い」との回答があった。

カ 職員の応対

		「とても良い」	46.2%
「良　い」	54.6%	「良　い」	20.8%
「ふつう」	26.1%	「ふつう」	23.6%
		「やや悪い」	2.8%
「悪　い」	7.8%	「悪　い」	1.9%
「未回答」	11.5%	「未回答」	4.7%

○　職員の対応については、指定管理者の調査では、「良い」が 54.6%、市の調査では「良い」以上が 67.0%となり、「ふつう」を含めると、指定管理者では 80.7%、市では 90.6%と高い評価であった。

キ 清掃状況

		「とても良い」	38.7%
「良　い」	54.6%	「良　い」	23.6%
「ふつう」	26.1%	「ふつう」	25.5%
		「やや悪い」	5.7%
「悪　い」	7.8%	「悪　い」	2.8%
「未回答」	11.5%	「未回答」	3.7%

○ 清掃状況については、指定管理者の調査では、「良い」が、54.6%、市の調査では、「良い」以上で 62.3%となり、「ふつう」を含めると、指定管理者では 80.7%、市では 87.8%と高い評価であった。

ク 設備、機能

		「とても良い」	32.1%
「良　い」	49.0%	「良　い」	25.5%
「ふつう」	31.1%	「ふつう」	30.2%
		「やや悪い」	5.7%
「悪　い」	4.5%	「悪　い」	3.7%
「未回答」	15.4%	「未回答」	2.8%

○ 設備、機能については、指定管理者の調査では、「良い」が 49.0%、市の調査では「良い」以上で 57.6%となり、「ふつう」を含めると、指定管理者では 80.1%、市では 87.8%と高い評価であった。

(2) 事業報告書に基づく評価

管理運営業務に関する次の事項等について、毎月の月例報告書及び年度終了後の事業報告書により報告を受けている。

①協定書に定める事項

・自主事業の実施状況（第４条）
・施設の目的外使用の状況（第７条）
・緊急時の対応状況（第 12 条）
・備品管理の状況（第 13・14 条）
・施設の維持補修状況（第 15 条）
・業務の実施状況に関する事項（第 16・17 条）
・施設の利用状況に関する事項（第 16・17 条）
・使用料または利用料金に関する事項（第 16・17 条）
・収支計算書（第 16・17 条）

②仕様書に定める事項

・自主管理業務の実施状況
・管理業務委託の実施状況

武道館	１６項目
スポーツセンター	１５項目
ふれあいセンター	４項目
屋外体育施設	１３項目

③事業計画書に定める事項

・指導者の活用状況
・各種スポーツ大会支援状況
・ボランティア・スポーツ団体等との連携状況

	・利用者からの改善要求に対する対応状況 ・利用者ニーズ調査実施状況 ・接遇研修状況 ・運動機器等取扱講習状況 ・救急救命資格取得状況 ・個人情報取扱状況 ・ホームページ整備状況 ④その他の事項 ・職員の異動等の状況 ・職員の施設管理に係る各種資格取得状況 ・ＡＥＤ取扱研修状況 ・施設の不具合の有無 ・施設運営上の改善事項 ・その他報告事項 ○ 協定書、仕様書に定める事項のほか、指定管理者が事業計画に掲げる事業についても、適正に報告がなされ、実施状況も良好である。 ○ 施設の維持補修状況については、施設・設備の保守点検結果や日常の巡回点検を実施し、利用者への安全確保と、利用者の要望などを踏まえ利便性の向上に努めている。 ○ 指定管理者が対応できない、資格や許認可、専門的な技術が必要な業務については、専門業者に管理委託している。武道館 16 項目、スポーツセンター15 項目、ふれあいセンター4 項目、屋外体育施設 13 項目が適正に報告がなされ、実施状況も良好である。 ○ スポーツセンター・武道館のトレーニング施設の利用者に対し、トレーニング方法やトレーニング機器類の使用方法などのアドバイスを行うため、スポーツ指導員を配置し、利用者のニーズの把握に努め、指導者の活用状況も良好である。 ○ 体育の日記念事業として、体育協会加盟団体がスポーツの普及や技術の向上などを目的に「体育の日」に因んで実施する各種大会に対して、体育施設を無料で開放し、各種スポーツ大会の支援をするなど支援状況も良好である。また、体育施設の一般開放では「体育の日」のほか、「こどもの日」「成人の日」を無料開放を実施した。 ○ 職員の施設管理に必要な資格の取得や研修を実施するなど、各種資格取得状況や研修状況も良好である。 ○ 武道館、スポーツセンター、ふれあいセンターの屋内３施設においては、千歳市内に所在している事業所を対象とした「環境配慮行動の取り組み方」を定めた規格である「ECO ちとせ」に基づく環境配慮行動の取り組みを実施した。

(3) 職員配置、緊急時対応、意見･要望･苦情対応、個人情報管理

①職員配置は事務局５名、振興課９名のほか、施設ごとに次のとおり配置されている。（平成 29 年 4 月 1 日現在）

施設等	館長 センター長	管理係長 主任	管理係	計
武道館	１名	１名	６名	８名
スポーツセンター	１名	１名	６名	８名
ふれあいセンター	施設長兼務	管理係長兼務	４名	４名
屋外体育施設	施設長兼務	１名	８名	９名
合　計	２名	３名	２４名	２９名

【施設及び救急に関する有資格者の配置状況】

＜体育関係＞

スポーツ指導者　　４名

トレーニング指導士　　４名

＜施設関係＞

上級体育施設管理士　　２名

体育施設管理士　　５名

防火管理者　　１４名

危険物取扱主任　　９名

消防設備士　　１名

２級ボイラー技士　　５名

体育施設運営士　　４名

電気工事士　　１名

＜救急救命関係＞

普通救命講習修了証　２３名

○　体育施設が安全で快適な利用環境の提供と効率的、効果的な管理運営を行うため、「体育施設管理士」「上級体育施設管理士」の資格取得者の配置や取得に努めるとともに、トレーニングに関するリスク管理やスポーツ科学と医学等を有した「トレーニング指導士」を配置するなど、有識者の配置状況は良好である。

②緊急時の対応について

○　消防法に基づく、各施設の消防計画を年度当初に見直すとともに、年２回の定期消防訓練を実施した。また、休館時及び開館時における火災や地震を含めた対応を「緊急連絡体制図」基に、職員への連絡や招集、関係機関へ連絡するなどの訓練を実施している。

○　消防署の立ち入り検査が実施されている。

○　武道館、スポーツセンター、ふれあいセンター、市民球場、青葉陸上競技場（青空公園スケート場兼用）、青葉公園庭球場クラブハウスに設置しているAED（体外式自動除細動器）の点検を毎月実施している。
○　施設職員（短期臨時職員を除く。）は「普通救急救命講習」を受講し、利用者の緊急対応に備えている。

③意見・要望・苦情への対応等について
　武道館、スポーツセンターのロビーに「アンケート箱」を設置し、施設利用アンケートの実施などにより、利用者の意見や要望を把握するとともに、苦情等について迅速に対応している。

④個人情報管理
　協定書第31条に基づき、個人情報の保護に関する法律及び千歳市個人情報保護条例を遵守し、適正に行っている。

(4)施設修繕の状況
①　施設の維持補修等は協定書第16条により、１件20万円未満の維持補修等については、指定管理者が行うものと定めていることから、平成29年度は、その協定書に基づき次のとおり実施された。また、1件20万以上で、市と協議した維持補修等も実施されています。

（単位：円）

施設名		件数	金額
武道館	20万円未満	20	2,383,279
	20万円以上	3	745,200
スポーツセンター	20万円未満	18	1,245,618
	20万円以上	1	292,464
ふれあいセンター	20万円未満	2	230,564
	20万円以上	0	0
屋外体育施設	20万円未満	28	1,920,040
	20万円以上	1	263,012
合計		73	7,080,177

５　自主事業の達成状況

(1)　指定管理者から提案のあった事業の実施状況は次のとおり。
①千歳ジュニアスポーツフェスティバルの開催
　当市でゴルフトーナメントを開催する企業グループの支援のもと、地域貢献事業として、プロ選手やトップアスリートが市内小中学生を対象に指導する「千歳ジュニアスポーツフェスティバル」を観光スポーツ部とともに、次のとおり開催した。平成29年度は14種目929名の参加があった。
（※前年度14種目：883名）

教室種目	参加人数	開催日	会場施設
かけっこ教室	56 名	5 月 13 日	スポーツセンター
陸上競技	63 名	5 月 13 日	青葉陸上競技場
バレーボール	76 名	5 月 20 日	武道館
柔道	52 名	5 月 20 日	武道館
バドミントン	89 名	5 月 20 日	武道館
卓球	103 名	5 月 20 日	スポーツセンター
水泳	27 名	5 月 28 日	温水プール
硬式野球	11 名	6 月 11 日	市民球場
軟式野球	33 名	6 月 11 日	青葉球場
硬式テニス	22 名	6 月 11 日	ふれあいセンター
バスケットボール	263 名	6 月 25 日	スポーツセンター
サッカー	71 名	6 月 25 日	臨空公園サッカー場
スナッグゴルフ	36 名	7 月 8 日	ノースカントリー
スキー	27 名	2 月 4 日	長沼スキー場
合　　計	929 名		

② スポーツ指導員配置事業

スポーツセンターと武道館のトレーニング施設において、スポーツ指導員を配置し、トレーニング機器の使用方法やトレーニング方法などのアドバイスを行い、利用者からの相談では、各施設に配置されているトレーニング指導士と連携を図り、利用者が快適かつ安全に利用できるよう努めている。

※配置回数　武道館　：123 回　2,087 人
　　スポーツセンター：103 回　2,438 人

③ スケートアドバイス事業

５歳児から小学生がスケートの基本を学べるよう、1 月 17 日・19 日の 2 日間、青空公園スケート場で実施した。

〇参加者数：130 人（前年度 136）

④ 青空公園スケート場の貸しスケート事業

スケート場の利用者の利便性を図るため、1 月 11 日から 2 月 25 日までの開設期間中にスケートの貸出しを実施した。

〇開設期間：46 日間（前年度 43 日間）
〇貸スケート利用者数：1,929 人（前年度 1,698 人）
〇スケートリンク利用者数：12,117 人（前年度 11,606 人）

6　市民サービスの向上を図るための取組み	(1)　市民利用の向上を図るため、体育施設の無料開放を実施した。 ○　市民の健康増進とスポーツの振興を図るため、「こどもの日」平成 29 年 5 月 3 日、「体育の日」平成 29 年 10 月 9 日、「成人の日」平成 30 年 1 月 13 日を無料開放し市民サービスの向上に努めた。 ○　「体育の日」記念事業として、体協加盟団体がスポーツの普及や技術の向上、親睦、交流等を目的に、「体育の日」に因んで開催した各種大会では、体育施設の無料開放を実施した。 (2)　体育施設無料開放では、10 月末で開設期間を終える屋外体育施設のうち、テニス場 3 か所（青葉公園・向陽台公園・つばさ公園）を 11 月 21 日までの 21 日間を無料開放とした。 (3)　屋内施設の休館日(整備日)を月 1 回と年末年始以外は、施設の開放を実施した。 ○　各施設の休館日 ・武道館　：　毎月第 2 月曜日 ・スポーツセンター　：　毎月第 4 月曜日 ・ふれあいセンター　：　毎月最終月曜日 (4)　屋内施設の利用区分の廃止及び利用時間の延長を実施した。 ○　武道館及びスポーツセンターでは、午前・午後・夜間の区分を廃止し、いつでも利用できる体制とした。 ○　青葉陸上競技場では、市内社会人や合宿チームの練習に配慮し、日没が遅い 5 月 15 日から 8 月 15 日まで、閉場時間を 1 時間延長した。 (5)スポーツ用具の無料貸し出しを実施した。 ○　スポーツセンターでは、4 月から 11 月まで、ノルディックウォーキングポール、パークゴルフ用具、1 月から 3 月上旬まで、歩くスキー用具の貸し出しを実施した。また、武道館では、5 月から 11 月まで、スナッグゴルフ用具の貸し出しを実施した。また、両施設では、卓球及びバドミントン用具を通年、貸し出しを実施した。 (6)施設利用ポイントカード事業を実施した。 ○　発行件数等は次のとおりです。 施設名 / 発行件数 / 減免利用件数 武道館 / 3,732 件 / 1,729 件 スポーツセンター / 5,182 件 / 1,498 件 屋外体育施設 / 184 件 / 86 件 合計 / 9,098 件 / 3,313 件 ○　施設の利用促進及び市民の健康増進を目的として、20 回の利用に対し 2 回の利用が無料となるポイントカードの発行を実施している。

	また、発行件数では、前年度より 1,476 件増加しており、施設利用者のサービス向上に努めた。 (7)　各種スポーツ大会・教室・講習会等の支援事業を実施した。 ○　各種スポーツ行事または事業等の開催に際し、施設管理上の支援協力を実施し、サービスに努めている。 特に、「千歳ＪＡＬ国際マラソン」、「ちとせホルメンコーレンマーチ」については、施設に関わる職員も総動員で協力支援をした。 「セガサミーカップゴルフトーナメント」では、地域貢献事業の「千歳ジュニアスポーツフェスティバル」開催に伴う、体育施設の確保や各団体との調整など、積極的に支援協力を展開している。
7　評価（総合コメント）	(1)　平成 18 年度から現指定管理者が業務を運営し、当年度で 4 期目の 1 年目となるが、市民へのサービス向上の取り組みとして、新たに、屋内体育施設では、午前・午後・夜間の区分の廃止や休館日(整備日)を毎月１回と年末年始以外を開館する事業を実施した。また、「体育の日」のほか、「こどもの日」「成人の日」を記念事業として、体育施設の無料開放を実施した。 「体育の日」に因んで体育協会加盟団体が開催する大会についても無料とする事業を継続するなど、市民サービスを図っている。 年間利用者数は、全体で前年度に比べ 15,401 人の増加、ポイントカードの発行件数では、1,476 件増加していることから、一般利用者の体育施設を利用する機会の充実は図られていると評価できる。 (2)　体育施設利用者アンケートのほか、屋内体育施設のロビーに「意見箱」を設置し、意見や要望に対する回答をロビーに掲示し、業務に反映するなど、良好な施設運営が図られていると評価できる。 (3)　日常的な維持管理や施設の点検、修繕などに適切に対応していることなどから良好な管理運営がされていると評価できる。 (4)　収支の面では、次年度繰越は 2,218,618 円となり、運営状況は良好と評価できる。 ○　各施設の条例や規則を基にした施設の運営及び管理を基本とするが、市民ニーズに対応した管理運営の自主事業が提案され実施していることは、高く評価できる。 今後においても利用者ニーズを引き続き把握し、自主的な提案がされ、市民サービスの向上が図られることを期待する。